

I 生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
生徒の課題	平成28年度全国学力・学習状況調査では、国語Aでは2.1下回ったが、その他は全国の平均正答率を上回る結果であった。数学については、知識に比べて活用の正答率が低かった。また、新3年生については大分県学力定着状況調査で国語と数学の活用の偏差値がそれぞれ0.3、0.1下回っていたものの、日田市実施学力調査(1月実施)では、全教科において全国比を上回り、学力の向上が見られた。新2年も、日田市実施学力調査(1月実施)ですべての教科について全国を上回り、とくに社会科では61.0と全国比を大きく上回る結果であった。	学力テストの質問紙の結果から、計画的な家庭学習に取り組めていない生徒の割合が全国や県と比較して多いことがわかった。実際に、連休や長期休業明けの課題の提出が滞ったり、定期考査前の学習に計画的に取り組めず、テスト直前に夜更かしをして取り組み、睡眠不足の状態に登校したりする生徒がいる。また、「読書が好き」と答える生徒の割合も低い。休み等、図書室を利用している生徒は少なくないが、利用する生徒が固定化しており、年間1、2冊しか本を借りていないという生徒も存在する。このような状況が、読解力や表現力の不足につながっていると考えられる。

II 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	読み解く力と表す力の育成
----------	--------------

②授業改善の重点	自分の考えを説明する力を育む授業の推進
----------	---------------------

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	・自力解決の場面で自分の考えを書かせる。 ・自分の考えを小集団や全体で説明しあう。	・自分の考えを書き、小集団(ペア・グループ)で考えを説明しあう活動を単元に2回以上位置づけ、活動前後での考えの変化などを「授業振り返りカード」に記録させる。	・「単元に2回以上授業振り返りカード記録させた。」と答える教科担当が85%以上。 ・「小集団活動では、自分の考えを話し合いの場でしっかり言える。」と回答をする生徒の割合が70%以上。	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

III 補充学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	わかる授業につながる学力層に応じたきめ細かい補習、振り返り学習に取り組む	朝・放課後学習を毎日計25分間設定し、確認テストを学期に2回以上実施する。全教職員で取り組み、毎月内容の見直しを図る。	
2学期			
3学期			

IV 家庭学習の取組(目標達成に向けた組織的な学習指導)

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	学校と家庭で、夜9時以降は家庭学習に集中する環境づくりに取り組む	家庭学習に集中するためのルール作りを生徒指導部・生活委員会とタイアップして行い、状況調査・家庭への協力依頼を学期に2回以上行う。	
2学期			
3学期			

V 家庭・地域との協働の取組

	重点的取組	取組指標	評価
家庭との協働	学級担任と連携して家庭学習習慣(夜9時以降は机に向かう)の確立に取り組む	子供の家庭学習の状況を見守るとともに、学級通信を活用しながら、学習意欲をはぐくむ声かけを行う。(月2回以上)	1学期 2学期
地域との協働	生徒の学習状況を参観するために、学校公開日以外にも学校に出向く機会をつくる。	学校公開日を中心に一般授業を参観し、意見・感想をアンケート等で学校に伝える。	3学期

◎=100%以上、○=80~99%、△=60~79%、×=60%未満

VI 平成29年度の目標及び達成指標・取組指標

- 1 大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査の平均正答率(県比・全国比)      2 全国学力・学習状況調査(質問紙:肯定的回答の割合)

	目標値	結果
中3 国語A 全国比	100.0	
中3 数学A 全国比	100.0	
中3 国語B 全国比	100.0	
中3 数学B 全国比	100.0	
中2 英語 偏差値	52.0	

質問事項	目標値	結果
①教科の授業が好き	国語	70.0% %
	数学	45.0% %
②教科の授業が分かる	国語	85.0% %
	数学	65.0% %
③話し合う活動で自分の考えを深め広げる	60.0%	%
④授業で分からないことをそのままにしておかない	80.0%	%

3 取組指標

①「新大分スタンダード」に基づいた「授業観察シート」を活用し、11月までに2回以上授業を観察する。	
自校で授業観察シートで11月までに2回以上授業を観察した教員の割合	%

③複数の教科担任のいる中学校は教科部会を、小規模校は近隣の学校との合同教科部会もしくはメール等を活用した情報交換を、月1回以上実施する。	
1・2学期に各3回以上実施した(実施・未実施)	

②全国学力・学習状況調査の調査問題(A・B問題)を解いて、改善策を見出す校内研修を、全小中学校が7月までに実施する。	
自校で研修を実施した(実施・未実施)	

④「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいた公開授業を、自校の全教員が11月までに実践する。	
授業を公開した教員の割合	%

※互見授業を公開授業と捉えてよい。